



やまた

広報

No
.....
828

持てる力振り絞り最後の石段

みこしかんぎょ
【山田八幡宮の神輿還御・記事11面】

今号の主な内容

所信表明の概要
山田中学校3年生が町に提言集を提出
みんなのスペース
山田町名誉町民・鈴木善幸先生にお別れ
町のわだい
和やかに金婚・敬老の集い

2～5
6～7
8～9
10
11
12

10月1日号 2004

CONTENTS

所信表明の概要



所信表明を述べる沼崎喜一町長

第三回町議会定例会が九月二十一日に開会しました。初日には、沼崎喜一町長が所信表明をし、「当面は町の生き残りをかけた厳しい局面の連続であることを覚悟しつつ、町民から寄せられた負託に応えるべく全力を傾注する決意です。これまでの町民との積極的な対話をもとにした政治姿勢は今後も変わることはありません」と、町政推進の施策として六項目を掲げ、今後四年間の基本方針を述べました。今号ではその概要を紹介します。

町民と協働の精神のもとに 「自立する町」の実現へ全力

具体化に当たっては、多くの施策が既に総合発展計画や施政方針で示されており、継続事業となっているもの、来年度実施予定で現在検討中のものな

ども含まれておりますので、主な施策についての第七次総合発展計画の領域ごとに申し述べてまいりますのでご理解をお願い致します。

情報化社会に適応し、地域特性を生かす産業のまち オランダ島の活用策を検討

本町の主力産業である漁業は、水産物輸入の増大や長引くデフレ不況の中で、魚価安が続いて厳しい経営環境にあります。

私は、このような苦境の中にあつては、漁業者自らが知恵を出し合い新たな展望を見出すための組織が必要との思いから、「水産・21世紀会議」を組織し、若い後継者の皆さんの国内外研修やグリーンツーリズム体験などを支援してきました。こうした活動の成果は「提言」としてまとめられ、またメンバーの新たな活動の場が広がるなど一定の評価が得られたことから、引き続き「水産グループ21」を組織し、新

たに十三人の後継者の皆さんに参加をいただいたところであります。今後とも後継者育成のための支援事業を継続し、漁業の振興を図ってまいります。

また、岩手を代表する素晴らしい水産物を生産するとともに、その販売にも力を入れることが重要でありますので、アサリまつりや鮭まつり、山田の魅力発信実行委員会で計画しております「カキまつり」を含む「山田てんこ盛りフェスタ」など、生産者と消費者が直接交流しながら、地産地消の拡大が図られるよう支援してまいります。

漁協合併の動きに関しては、岩手県漁連の方針である「平成十七年度末、



海水浴場として親しまれるオランダ島。環境保全に努めながら憩いの場として新たな活用策を探っていきます

私は、任期満了に伴い、去る七月十一日に執行されました山田町長選挙におきまして無投票当選し、二期目の町政を担当することになりました。初当選以来の四年間は、激動の21世紀初頭であり、市町村合併問題など本町の将来を決する重大な選択を迫られた時代でありましたが、これからも当面は町の生き残りをかけた厳しい局面の連続であることを覚悟しつつ、町民の皆さまから寄せられました負託に応えるべく全力を傾注する決意であります。

初当選以来、町民の皆さまとの積極的な対話のもと、公平・公正な政治姿勢を基本として町政推進に当たってまいりました。この考えは、いささかも変わるものではありません。

町政を取り巻く諸情勢についてであります。国が進めようとしている「三位一体の改革」は、本来、地方自治の確立に向けた「地方分権改革」であるべきであり、国庫補助負担金の廃止、地方交付税制度の改革、税源移譲を含

市町村単位十一漁協」、「平成十九年度末、県一漁協」の推進に向けて後押しをしていきたいと考えています。

農業については、野菜・花きなど収益性の高い園芸作物の作付け拡大と併せて、近年、気運の高まりを見せている産地直売活動と一体的に推進し、農家所得の向上に努めてまいります。

畜産については、平成十五年度から継続事業で実施している「山田町堆肥センター」が十月末には完成します。この経営については、生産者十六人で設立した「農事組合法人エコファーム山田」に管理の代行を任せる予定であり、関係機関と連携を取りながら、経営が軌道に乗り、安定していくよう見

豊かな生活を育む自然・環境をつくるまち 快適な生活基盤の整備図る

「山田の海を守る」運動については、山に広葉樹を植える植樹祭をはじめとして、「ごみゼロ作戦」など町内全域において活発に展開されており、海のみならず河川環境も含めて、次世代に引き継ぐ良好な環境の保全に努めてまいります。

海を守るとともに、水質環境の向上と水洗トイレによる快適な生活環境づくりを進めるための下水道整備については、大沢地区が平成十七年度で完了、船越・田の浜地区の面整備（管きよ敷設）については平成十八年度に完了する予定となっています。懸案でありま

む税源配分の見直しが一体として行われるべきものであります。しかしながら、平成十六年度は、国庫補助負担金の減額と大幅な地方交付税の削減が先行するなど、国の財政再建のみを先行させた地方分権改革には程遠い内容であり、国と地方の信頼関係を著しく損なうものとなりました。

本町においては、平成十三年度策定の「山田町行政改革大綱」に基づき、各般の施策を講じてきたところですが、予測を超える厳しい財政状況の中にあつて、より効果的な財源の運用による行政経費の合理化を図り、財政運営の健全化に資するために、平成十五年五月、「山田町財政健全化対策研究会」を発足させたところであります。これら取り組みにより、一定の成果が得られており、なお活動を継続しながらさらなる行財政構造改革を進め、「身の丈にあった」持続可能な行財政の確立を図っていかねばならないものと考えております。

私は、町民の皆さまに町政推進の基本施策として▼地域の特性を生かした農林水産業活性化への積極支援、後継者育成事業の継続▼山田の魅力を活用した商工業・観光事業の育成振興▼生活環境基盤整備の促進と山田の海を守る施策の充実▼情報化社会に適応できる教育環境の整備▼保健医療の充実と少子高齢化に対応した福祉▼山田町の自立に向けた行財政計画のさらなる推進――の六項目を掲げ、その実現のために努力を傾注してまいります。

守りたいと考えています。

商工業については、個々の事業主の努力が商店街づくりとつながるよう商工会と連携し、各種助成事業や融資制度の利用促進、産業まつりや特産品の販路拡大への支援を行ってまいります。町有となったオランダ島は、町の象徴であり、陸中海岸国立公園の無人島として自然保護を基本とするものですが、素晴らしい海水浴場であることが多くの方々から認知されてきており、いろいろな活用策を観光協会、商工会などと協議しながら、町民のみならず町外からのお客さまにも憩いの場として楽しんでもらえるよう検討してまいります。

した山田地区は、処理場と中継ポンプ場用地にめどがつき、第一期六十畝について平成十七年度から実質的な工事に着手することにしており、平成二十七年から供用開始する計画で進めていきます。織笠地区は、山田地区の処理場を使用することとなっておりますので、山田地区の進ちよく状況と連動させながら進めてまいります。

柳沢北浜地区土地区画整理事業は、三陸縦貫自動車道「山田道路」のアクセス道と接続している道路整備や家屋移転も進み、橋りょう、水路、宅地造成の整備により、形が見えてきました。

今後は、平成十七年度の県立山田病院の改築に合わせた道路などの整備を中心に、計画的な事業の推進に努めてまいります。

柳沢第一団地建替事業は、平成十三年度から工事着手し、すでに二棟完成しています。これからも、入れ換え待機者の解消に努めながら、高齢者向け住宅の整備も引き続き進め、平成十六年から十七年で四階建て二棟二十八戸、その後、四階建て一棟三十二戸を建設することとしております。当初の整備計画戸数は七棟百四十二戸でありましたが、今回全体的な見直しを行い、当面、四棟百二戸で建設を終了する予定であります。

県道については、一般県道宮古山田線の国道までの改良、主要地方道重茂半島線の急カーブ改良、幅員拡幅などを県に継続して要望してまいります。

町道については、県代行業業での町道笹外山線は、本年度、国道取り付け部工事が予定されており、完成後は、引き続き、町道細浦柳沢線を代行業業



柳沢北浜地区土地区画整理事業で
工事が進む「(仮称)北っ子橋」

人と人が支え合う温かい心の通うまち

保健・医療の充実に努める

町民が健康であることが、町づくりの源であり、生活習慣病の一次予防をはじめとする健康づくりや子育て支援、施設や在宅での介護サービスなど、子供からお年寄りまでの保健・医療の充実を図ってまいります。

として整備促進を図るよう県に要望してまいります。町道長林大浦線局部改良事業は、平成十三年度から工事に着手しておりますが、事業の見直しに伴い工事費が増えたことから平成二十年

度の完成を目指して進めてまいります。廃棄物処理対策については、資源の有効利用を徹底し、廃棄物の排出抑制、再利用・再利用を推進しながら減量化を図ってまいります。

町民が健康であることが、町づくりの源であり、生活習慣病の一次予防をはじめとする健康づくりや子育て支援、施設や在宅での介護サービスなど、子供からお年寄りまでの保健・医療の充実を図ってまいります。

特に、県立山田病院の改築事業につきましましては、用地取得の見通しがついたことから、計画どおり平成十七年度中の完成を目指し、医師の確保、高度医療機器の設置など診療体制の充実と併せて、県への要望活動を強力に進

計画の推進

民間活力を導入し町政推進

行政運営をする上で、基盤となるのは安定した財源確保であります。国の「改革断行予算」による影響は大きく、長期的な財政見通しが厳しい現状を踏まえ、大胆かつスピード感のある持続的な改革を実行しなければなりません。このことから、適時適切な財政計画の策定により財政基盤の確立に努めてまいります。

行政推進体制の効率化については、「山田町行政改革大綱」に基づき、行政運営の減量と簡素化を進めるため行政組織の見直しを行い、本年度から十六課を十一課にスリム化し係制を廃止してチーム制としたほか、大幅な権限の委譲を行うなど仕事に柔軟に対応で

きる組織を目指してきたところであり、ます。その結果として収入役の事務量の削減が図られたこともあり、今回一段と厳しくなる財政環境にかんがみ、収入役を置かないことを決断しました。

また、このように不透明で厳しい状況はなお続くと思われ、さらなる町職員の意識改革を求めるとともに、民間活力の導入も図りながら町民の皆さまと協働の精神のもとに、情報公開と説明責任を徹底し、「自立する町」の実現に向けて、全力をあげて取り組んでまいります。

第八次山田町総合発展計画については、新たに公募委員などを含めた「まちづくり委員会」を創設し、町民の皆

めてまいります。

地域福祉の充実については、行政、地域、個人のそれぞれの役割をあらためて確認しながら、公的な福祉サービスと地域に住む人々のつながりによる支援機能を有機的に結びつけ、新しい協働の在り方を町民の皆さまの参画を得ながら取り組んでまいります。

子育て支援については、平成十五年三月に「山田町児童育成計画」を策定し、それに基づき今年度から子育てガイドブックの配布、山田南小学区児童を対象とした学童保育を実施してきま

一人ひとりがキラリと光る生涯学習のまち

町民組織の支援制度を創設

これからの地方自治の方向としては、住民の参画が重要な役割を担うことから、自主的活動の促進と、地域づくりは人づくりの観点に立って、「元氣の出る地域づくりを進めるための自主的町民組織と支援制度の創設」に取り組んでまいります。

学校教育については、課題としての学力の向上、不登校への対応にさら



児童生徒の生きる力をはぐくむ
教育の推進に努めます(今年
5月の大浦小学校運動会)

さまからの意見・提言をいただきながら策定していきたいと考えています。

以上、今後四年間の町政運営の進め方につきまして、所信の一端を述べてまいりました。

私は、この山田の地に生まれ育ったことを誇りに思い、その素晴らしい財産を後世に伝える義務があると常に考えております。多くの町民の皆さまも同じ思いでありましょう。しかし、残念ながら時代のすう勢の中でもすれば基幹産業である第一次産業が劣勢に立たされ、将来への自信を持てない後継者が地方を離れている事実もまた現実であります。一方で、日本の人口は平成十八年をピークに減少に転じるとの予測はあるものの、発展途上国の人口爆発は依然として続き、将来の食糧危機の到来は必至であるとの指摘もあり、食糧生産基地としての岩手、山田の存在価値は必ず見直される時代が来

本年八月には、「民間にできることは民間に」の動きの中で、民間活力の導入を促すことを前提に、就学前施設(保育園、児童館、幼稚園)の効率的運営に関して、「就学前施設運営検討委員会」を設置し、調査検討をお願いしているところであります。

消防防災対策の充実については、消防団、自主防災組織を中心として、あらゆる組織と連携を図り、町民の参加を得ながら山田町総合防災訓練を実施するとともに、平成十七年度に向けて、山田町地域防災計画の総合的な見直しを行ってまいります。

に取り組むとともに、児童生徒の「生きる力をはぐくむ教育の推進」に努めてまいります。社会教育については、いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習の場を提供している各種教室や交流事業を実施してまいります。

町立図書館については、昨年、地震の被害を受け、中央コミュニティセンターに機能を移転しましたが、思いがけず利用者、帯出者とも増えています。しかし、現状を長期に続けることは好ましいことではなく、第八次山田町総合発展計画の中で、施設の設置だけでなく管理運営も含め、どのようなことが考えられるのか、選択肢を広げながら検討してまいります。

と確信しております。また、癒やしを求める都市の住民が自然や人情の残る地方に滞在し明日への活力を補充する時代が来ているのも事実であります。

私は、町内の中学校、高校からの要請による特別講話では、常にそのことを語り、訴えてまいりました。まず、町民自らがわが町の素晴らしさに自信を持ち、これからの町づくりの可能性を信じて一丸となっていたいただきたい。新しい町づくりの第一歩がそこにあると思います。あらためて、強くそのことを訴えるものであります。

私は、ここで、新たに与えられた任期の中で、全身全霊をもって町民の皆さまの負託に応えるべく、激動の時代に歩を進める決意をあらためて披瀝しながら、議会の皆さま、町民の皆さまのご理解とさらなるご支援をお願い申し上げ、所信表明を終わらせていただきます。

助役に川村永爾氏を選任



川村永爾助役

九月二十一日から開かれた第三回町議会定例会で、八月二十九日以降空席となっていた助役に総務課長の川村永爾氏(五九)長崎を選任することが同意されました。任期は九月二十二日から向こう四年間です。川村助役は「厳しい諸情勢を踏まえ、沼崎町政を補佐しながら行財政

と住民サービスの効率化の推進、より開かれた役場を目指し努力してまいります。併せて、厳正かつ慎重な公金の取り扱いに留意してまいります」と抱負を述べています。

【略歴】日本大学卒。昭和43年役場職員。59年総務課長補佐、平成4年社会教育課長、7年商工観光課長、10年水産商工課長、12年企画財政課長、14年総務課長。長崎4―10―11。59歳。

収入役を置かない 条例が制定される

第3回町議会定例会で「山田町に収入役を置かない条例」案が9月21日に可決され、同日から施行されました。行政運営の減量と簡素化を進めるための行政組織の見直しに伴い、収入役の事務量の削減が図られたことや、今後一段と厳しくなる財政環境などを踏まえ、収入役を置かないこととしたものです。これにより、収入役の業務は助役が兼務することになりました。

「ふるさと山田町の未来のために」提言

1. 地元の産業振興を図り後継者を育てるためには

▶小学校などでも積極的に「漁師の仕事体験」などを行い、子供が漁業に少しでも興味をもってもらえるような機会をつくる▶山田の漁業をアピールするため、魚介類や漁師の皆さんの頑張りをCMにする▶大きい船を改装し、人がたくさん乗れる洋上レストランにする▶今の漁業者は高齢者が多いので、何人かでグループをつくってこれまでの経験を生かし、若い後継者を育てる活動をしてもらう▶新たに漁師になる人には、いくら補助金を出す▶漁師をやめる人の船を町が1、2隻買い取り、新たに漁師になる人に安い値段でレンタルさせる

2. 豊かな自然、環境、文化、伝承をアピールして観光客を誘致するには

▶山田の川（織笠川、関口川、豊間根川）の水を利用して大規模な釣り堀を造る。全国の珍しい魚を集めて日本中の釣り人を集める。釣り堀の目玉は日本最大の淡水魚のイトウや雷魚などで、最低30種類以上が釣れるようにする▶山田の特産品のパッケージに山田の予定表や季節の行事、PRを入れて販売する▶こいのぼりみたいに「鯨のぼり」をオリジナルで作って「鯨のぼり祭り」を開催する▶鯨のオリジナルキャラクターを作って売る。例えば、鯨人形焼きなど▶鯨山を整備して観光客に登山させて自然と触れ合ってもらおう▶山菜を採ったりして楽しんでもらう▶全国に山田の祭りをテレビで流した方がいいと思う▶道の駅に「オランダ館」を建てる。山田とオランダの関係を展示したり、オランダの特産品を売ったり、オランダの人に実際に来てもらって講演やパフォーマンスなどをしてもらう▶12月にオランダ島をライトなどで飾り、ナイトクルーズを行う。日帰り「山田八景」ツアーを行う。8月にオランダ島でプレスケンス号の入港シーンを再現する▶山田の中学生が主催する花火大会を開催する。町内の小中学校の生徒から100円ずつ募金してもらい、大会の運営は町内の皆さんにボランティアで参加してもらう

3. 自然を守るためには

▶リサイクルマーケットをやった方がよい▶海面活性剤などが入っている洗剤などではなく、地球・海に害が少ないせっけんを使って1〜2週、せっけんで物などを洗う行事みたいなものをやればいいと思う▶1年間に植える広葉樹の量を増やす。そのために募金活動で植林の資金をためる。今、山田の水がどのような状況になっているのかを町民の人々に訴え、小さな下水処理場を建てるために募金をする▶月に1回または2カ月に1回、小中高全員の「学校の周りを緑でいっぱいにしてよう作戦」で広葉樹を植える▶EM菌ゴミ処理法を取り入れ、各家庭に処理機を置いてもらう▶鮭まつりなどのイベントの際に、ゴミの持ち帰りをそのイベントで呼び掛けたいと思う

4. 都会から移り住みたいようなまちづくりをするためには

▶「海の幸ツアー」を開催する。魚屋を小型から中型店にしてその場でさばいてもらう。四季折々の食材を食べてもらう（秋は鮭とイクラを食べてもらうなど）▶漁村体験修学旅行で、自然と触れ合ってもらい、自然の楽しさやマナーを教える。内陸ではできないような海での遊びをし、楽しさを教える▶古い空き家を町で買い取り、改装して都会の人に売る▶住みやすい環境をつくるために、ショッピングモールを建築し、便利さを取り入れる。また、山田の環境を守り、体の悪い人たちにも住みやすい町をつくる▶海岸映画祭「山田映画祭」を開く。町民の参加希望者で作品を作り、大賞を決める。海岸に巨大スクリーンと客席を造る▶沖縄県南大東村の町づくりから「島まるごと館」作戦。大島（オランダ島）または小島をまるごと博物館にし、山田町の特色を説明できるようにする▶町内にある宿泊場所で、遠くから来た人にサービスで漁師や経営者が海の遊び、仕事について説明し体験してもらう▶山田町ができてからの出来事（おもしろい、ビックリ）など、これからの未来の山田をまとめた小説を参加希望で作る。資金はボランティアによる募金で集める▶「海の協力隊」をつくり、都会から人を呼んで漁業や農業を体験させる▶森林作業員の海版（海の作業員）を設置。いろいろな都市のハローワークや就職情報紙にこの仕事を紹介する

町総合発展計画策定に皆さんの意見・提言を

地域懇談会を開催

町では、第八次山田町総合発展計画を策定するに当たり、広く町民の意見や提言を計画に反映させるため、地域懇談会を開催します。どの会場に参加しても構いませんので積極的な参加をお願いします。将来の町づくりについて皆さんの意見、提言をお聞かせください。

▽期日と会場 下表のとおり
▽時間 午後六時半〜八時半
▽内容 町を取り巻く状況の説明、自由発言による懇談
▽問い合わせ 役場企画財政課 企画担当（☎82-3111 内線437）へどうぞ。

◆地域懇談会の日程 [10月]

期 日	会 場
15日(金)	豊間根生活改善センター
18日(月)	船越防災センター
20日(水)	中央公民館小ホール
21日(木)	船越漁村センター
26日(火)	大浦漁村センター
27日(水)	織笠コミュニティセンター
28日(木)	ふるさとセンター



今年6月に行われた「町長出前講座」の様子＝写真上＝沼崎喜一町長に提言集を手渡す千代川準君(右)と佐藤希美さん(中)＝丸写真＝

山田中学校

3年生が町に提言集を提出

古里を元気にするために

山田中学校の三年生（百八十五人）が、総合学習の中で取り組んできた町おこしのための調査研究活動が終了し、このほどその活動の成果をまとめた「ふるさと山田町の未来のために」提言集が町に寄せられました。町では現在、平成十八年度から始まる第八次総合発展計画の策定作業を進めており、この提言を含め可能な限り広く町民の皆さんの意見などを計画作りに役立てたいと考えています。ここでは、「子供たちが考える山田の元気な未来像」として、提言集の中から主なものを抜粋して紹介します。

提言集の提出式は九月二十八日、町長室で行われ、学年委員長の千代川準君と学年副委員長の佐藤希美さんが「提言集にはわたしたちの夢がいっぱい込められていて現実的とはいえないものもありますが、一人ひとり真剣に未来のために考えたものです。ぜひ山田の発展のための参考に使ってください」と、沼崎喜一町長に提言集を手渡ししました。これに対し沼崎町長は、「皆さんのこれまでの取り組み大変ご苦労さまでした。今年から来年にかけて本町の第八次総合発展計画を作りますので、その中に皆さんの夢ができるだけ

盛り込まれるようにしていきたい」と述べました。

町おこしのための調査研究活動は、山中三年生の総合的な学習の時間の取り組みとして今年六月から進められてきました。「町長出前講座」での講話や各種団体を訪問しての聞き取りのほか、インターネットでの資料収集などにより調査研究が行われ、このほど活動の成果が提言集としてまとめられたものです。

今回寄せられた提言は、▼地元の産業振興を図り後継者を育てるためには▼豊かな自然、環境、文化、伝承をアピールして観光客を誘致するには▼自然を守るためには▼都会から移り住みたいようなまちづくりをするためには――の四つのテーマで構成。古里を元気にするためのアイデアや夢と希望にあふれたものなどさまざまで、どれも山田を思う気持ちが伝わってくるものばかりです。皆さんもこの機会に身近な地域づくりや町づくりについて考えてみませんか。



佐々木 リ ツさん
(豊間根・82歳)

何事もやり遂げることが大切

★趣味は何ですか
若いころから本を読むのが好きで、今まで何冊読んだか数えきれません。時代物が特に好きで、毎日十時過ぎまで読んでいます。好きな読書と針仕事、編み物ができれば毎日退屈しません。
★楽しみは何ですか
老人クラブの例会に行って、みんなで歌ったり踊ったりするのがとても楽しいですね。

★元気の秘けつは
以前はひざが痛くて歩くのも大変だったんですが、医者のお勧めで、つえをつきながら毎日一万歩以上は歩くようにしています。平成四年に始めて十年以上続けていますが、おかげでひざの痛みが大分和らいできました。元気なうちはずっと続けていこうと思っています。
★好きな言葉は何ですか
「実行力」ですね。何でも一度決めたら実行することが大事ですし、最後までやり遂げようとするのが大切だと思います。

イラスト



みんなのスペース



はこいし なおや くん
(大沢保育園・6歳)

ぼくのゆめ

大きくなったらデカしんジャーのデカしっどになって、悪い人をやっつけてやるんだ。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

掃海艇の記事を読んで

九月一日号の広報やまだに、山田湾に沈んだ掃海艇の記事が掲載されたのを読んで、あの日のことがありありと浮かんできました。山田湾攻撃の時、わたしたち一家は現在の武徳殿の上に当たる杉林の中に疎開小屋を建てて暮らしていました。敵の飛行機が海に向かって攻撃して水煙を立て、そしてわたしたちの頭上で旋回しては、掃海艇めがけて恐ろしい爆音をたてながら急降下して攻撃したものです。その時、怖いながらも杉林の中から飛行機を見ると、アメリカ兵の飛行メカネ姿が見えたものでした。
攻撃がやんで母の制止も聞かずに海岸に走っていくと、兵隊さんたちのながらが次々と桟橋に運ばれてトラックに乗せられていました。トラックからは血が点々と落ちていて、どこに運ばれるのだろうと思ったもの

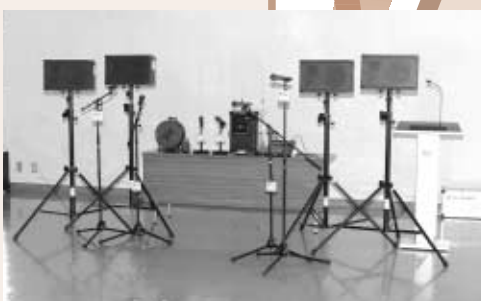
宝くじ助成

イベント用備品を購入 自治会などに貸し出します

町では、財団法人自治総合センターが実施している「コミュニティ事業」(宝くじ助成)の助成を受けて、イベント用備品を購入しました。同助成事業は、コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的に行われているものです。

町内の自治会や公共的な団体に無料で貸し出しますので、各種イベント活動などでご活用ください。

- ▷購入した備品
- ・移動用P A音響システム…一式
 - ・イベントテント (奥行3.5m×開口7.1m×軒高2.0m) …4張り
- ▷申込先・問い合わせ 役場産業振興課商工観光担当 (☎82-3111内線233) へどうぞ。



関谷の空は青く澄む

美智子 (八幡町・?歳)

泣けて泣かされた数日でした。小林一斗、隼人ちゃん兄弟の幼い子供、どんなにかひもじい思い、怖い日々だったでしょう。そして、真つ暗い川、冷たい水に投げ込まれ、何というこんな無常な人間があるのかと。憎んでも憎んでも飽き足らぬやつ。

児童虐待事件に心痛む

た。九月に入ってもまだまだで。祭りに雨がなくいい天気になるように…。
山田町名誉町民の善幸さんが亡くなり残念です。心よりごめい福をお祈り致します。
田中芳子 (山田・?歳)

郷愁いざなう旅愁の歌

コスモスが風にゆらぐ初秋の朝、ラジオから「旅愁」の歌が流れてきた。心が郷愁へと無垢な朝だった。年のせいかこのころ、心が動くようになった。
菊地サカエ (織笠・69歳)

暑さが厳しい今年の夏

今年は暑さが厳しく大変でし

山谷グランドへ

千代川貞 (大沢・78歳)
金婚に娘に贈られし品抱え仕合わせ妻と噛みしめる日々
齋藤忠雄 (船越・79歳)
敬老の仲間やまだまだ程遠い
松崎静雄 (船越・69歳)

「大人のすべての人達へ」

子どもは、生徒は、学生は、親の鏡であり、先生の鏡であり、地域の鏡である。
子どもの姿は、大人の姿。
子どもを責めるな。
抱きしめる事が大切です…。
ペンネーム・深キヨン大好き♥
(長崎・?歳)

鈴木善幸先生にお別れ

町民ら740人が参列献花

七月十九日に九十三歳で死去された山田町名誉町民の鈴木善幸先生の「町民お別れの会」が九月十一日、町中央公民館大ホールで行われ、本町はじめ近隣の市町村から七百四十人が参列しました。祭壇には穏やかな表情の遺影、正二位の位階と大勲位菊花大綬章の勲章が飾られ、参列者一人ひとりが献花。生涯にわたり漁業の振興に情熱を注ぎ、国の発展に大きな功績を残した故人に別れを告げました。

町民お別れの会で参列者にお礼の言葉を述べる鈴木俊一氏＝写真上＝／祭壇に花を手向け別れを告げる参列者＝写真＝

式に先立ち、東京で執り行われた鈴木家密葬と内閣・自由民主党合同葬儀の様子、故人の在りし日の姿を記録したビデオが上映されました。

式では参列者全員で黙とうをささげた後、主催者を代表して沼崎喜一町長が「善幸先生の偉大な業績は語り尽くせません。しかし、賜りました数々の遺徳を後世に語り継ぐことはできます。わが町から一人の政治家が誕生し、数々の業績を重ね総理大臣を極めたこと、そして町民はわがこととして喜び合い、名誉町民として顕彰したことを、末永く歴史にとどめ、語り継ぐことをあらためてお誓いします。善幸先生、ようやく愛してやまない古里の山田湾が一望できる丘でお休みになれることになりました。長い間ご苦労さまでした。これからどうか天上にあって漁業の振興、古里の発展、国家の発展、そしてご遺族の安寧を見守ってください」と式辞を述べました。

続いて佐々木良一町議会議長、経済産業界を代表して阿部金一山田漁連会長がお別れの言葉を述べ、沼崎町長、鈴木善幸先生の妻さち夫人ら遺族、県議会議員、町議会議員の皆さんが代表献花を行いました。

遺族を代表して長男で衆議院議員の鈴木俊一氏は「父は典型的な明治の人であり、我慢強く決して弱音を吐くことはありませんでした。また典型的な岩手の男であり、派手なことは苦手でしたが、与えられた仕事をもくもくとこなす父でした。亡くなった七月十九日はくしくも海の日。水産業の振興のために生涯をかけた父の生きざまを思うとき、何か深い因縁を感じます。父は生前、頂いた称号の中で誇りにしていたものが二つありました。一つは大日本水産会から頂いた『水産翁』という称号。そしてもう一つは皆さまから頂いた山田町の名誉町民の称号です。父は眠りにつくわけですが、これからは山田の一隅からこよなく愛した古里山田町、そして岩手県の末永い発展を見守り続けてくれることと思います」とお礼の言葉を述べました。

最後に参列者一人ひとりが別れを惜しみながら遺影に献花。地域の発展に多大な功績を残した故人のめい福を祈りました。



今月の題字

佐々木 雄 磨 君
(荒川小6年)

町のわだい

山田八幡宮・大杉神社神幸祭 華やかに町を彩る祭りばやし

山田八幡宮と大杉神社の神幸祭が9月19日と20日に行われ、町中が笛や太鼓の祭りばやしに包まれました。19日は、山田八幡宮のみこしが金色の光を放ちながら町を練り歩き、沿道の観衆を魅了。20日の大杉神社神幸祭では名物の海上渡御が行われ、みこしが一気に海になだれ込むと大きな歓声が上がりました。今年は祭りに合わせて山田の魅力発信実行委員会が、「やまだエンタテイメントカーニバル」を開催。特設会場の「お祭り広場」は、みこしの渡御や郷土芸能が披露されるなど、大勢の家族連れでにぎわっていました。



交通死亡事故ゼロ1年間を達成 本町に賞賛状が贈られる

9月6日で交通死亡事故ゼロ1年間を達成した本町に、県警本部から賞賛状が贈られました。授与式は7日に役場で行われ、小笠原正成宮古警察署長が沼崎喜一町長に賞賛状を手渡し、「今後も地域一丸で交通事故防止に取り組んでください」と激励。式には交通安全協会山田支会の川村敬一支会長、交通指導隊の野崎文子隊長、交通安全母の会の後藤マツノ副会長も同席し、「原点に返って記録を1日でも伸ばせるように努力します」と決意を新たにしていました。

町総合防災訓練を実施 有事に備える意識を持って

町総合防災訓練が9月5日午前5時半から行われ、町民の皆さんを対象とした津波避難訓練など、万が一の災害に備えた各種訓練が繰り広げられました。山田漁港では、漁船から出火したとの想定で陸と海からの消火活動や、港内に油が流出したとの想定でオイルフェンスを張り、油の拡散を防ぐ訓練が本番さながらに行われました。最後に災害対策本部長の沼崎喜一町長が、「訓練の成果を持続させ有事に備える意識を常に持ってほしい」と訓示を述べました。





大沢地区会場（大沢小学校体育館）での集いの様子

和やかに金婚、敬老の集い

おじいちゃん おばあちゃん
いつまでも元気で
長生きしてね

平成16年度長寿番付

平成16年9月1日現在

東 方		番 付	西 方	
地 区	氏 名 (年齢)		氏 名 (年齢)	地 区
大 沢	菊 地 こ は る (103)	横 綱	鳥 居 熊 藏 (101)	大 沢
北 浜	佐 藤 ト ク (100)	大 関	昆 野 節 子 (99)	織 笠
山 田	佐 藤 忠 太 夫 (99)	関 脇	湊 リ ヨ (99)	織 笠
船 越	小 笠 原 ヨ テ (99)	小 結	伊 藤 ト モ ヘ (99)	八 幡 町
中央町	阿 部 ソ ノ プ (98)	前 頭 1	山 崎 サ イ (98)	田 の 浜
大 沢	箱 石 ミ ワ (98)	〃 2	安 西 ミ ツ (98)	境 田 町
中央町	沼 崎 重 夫 (97)	〃 3	豊 岡 根 六 右 エ 門 (97)	豊 岡 根
船 越	佐 々 木 ハ ナ ヨ (97)	〃 4	白 土 定 (97)	境 田 町
豊 岡 根	長 澤 ヨ シ (97)	〃 5	鈴 木 サ タ (97)	後 楽 町

お年寄りの方々に感謝と敬意を表し、長寿を祝い励ます「町敬老会・金婚式」が九月二十四日、町内八会場で一斉に開かれました。

金婚式を兼ねて開かれた町敬老会には、七十五歳以上（昭和五年四月一日以前生まれ）の方二千七百三十九人と、結婚五十年を迎えたご夫婦が招待され、会場には四十五組の金婚夫婦を含む総勢千百人の方が元気に出席しました。

先立ち沼崎喜一町長が「皆さんのご長寿を心からお祝い申し上げます。町の人口に占める六十五歳以上の割合は二六％を超えており、本町も高齢社会を迎えました。今の山田町があるのは、大変厳しい時代を乗り越えてこられた皆さんのお力によるものだと思います。これまでの長い人生の中で培われた皆さんの知恵や経験はまだまだ社会で必要とされています。また社会に出て後輩のわれわれを指導していただきたい」とあいさつ。その後、金婚夫婦が紹介され、

町から祝い状が贈られました。各会場では、婦人会の皆さんらによる心尽くしの料理が振舞われたほか、アトラクションとして地元の園児や小学生らがかわいらしい踊りや演劇を披露し、「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気で長生きしてください」と長寿を祝福。参加した皆さんは、真心のこもった演技の数々に目を細めながら、大きな拍手を送っていました。

今が一番「幸せ」です



中山明文(79)、百合子(75)ご夫妻
Ⅱ船越Ⅱ(昭和29年10月28日婚姻)

金婚を祝っていただき、心から感謝致します。私たちが結婚した当時は、終戦後でろくに食べる物も無く、本当に大変でした。この五十年を振り返ってみると、とにかく忙しく、働きつめの毎日だったように思います。造船場勤務を経て民宿を始めた時には、宿泊したお客さまに心を込めたもてなしをしようと二人で力を合わせて一生懸命働き、どうにか借金もせず無事に営んでくることができました。

子供と孫に囲まれている今が一番幸せです。これからはお互いの労をねぎらいながら、穏やかに過ごしていきたいですね。



沼崎町長から金婚のご夫婦に祝い状が手渡されました（大沢地区会場）

プレゼント500円の図書カード
広報クイズ
208
 三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 9月28日、町に提言集を提出したのは山田中学校の何年生？
 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
- 平成16年度の長寿番付東方横綱の菊地こはるさんの年齢は？
 ① 102歳 ② 103歳 ③ 104歳
- 狂犬病予防注射を接種しなければならないのは、生後何日以上の子犬？
 ① 9日 ② 91日 ③ 910日
- 山田町日蘭交流友の会などが主催し、10月4日から10日まで開催されるのは「〇〇〇〇週間」？
 ① 日本 ② アルゼンチン ③ オランダ
- 今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん3人のうち、男の子は何人？
 ① なし ② 1人 ③ 2人

【応募方法】 下記のはがきの要領でご応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

50円	028-1392	クイズの答え〈例〉 ①-A ④-C ②-B ⑤-C ③-B
山田町役場 広報クイズ係		氏名 年齢 〒・住所
山田町八幡町3-20		

☆締め切り=10月20日(当日消印有効)
 ☆前回の正解は、①-A、②-B、③-A、④-B、⑤-Cでした。応募者数は38通で正解は37通、抽選の結果次の10人が当せんしました。

山田=田中芳子(?)、武藤由磨(15)
 飯岡=貫洞雄一郎(?) 長崎=木戸協瑠南(7) 船越=福館ひかる(11)、
 村木明美(35) 織笠=佐々木明日香(?)、
 稲川美里(11) 豊間根=佐々木寿理(4)
 神奈川県相模原市=穂積佳卓(8) <敬称略>



鈴木 萌さん
 (中央町・宮古高校3年)

のソロ上位二艇の合計成績で競うデュエットで見事優勝に輝きました。大会は八月二十日から岡山県牛窓町で行われ、女子FJ級には全国の水域を勝ち抜いてきた四

十二艇が出場。七回戦の合計得点で順位を競いました。「台風の影響で練習が半日しかできなかったのに加え、前半は慣れない海に苦しんだが、後半は潮と風の特徴をとらえスピードに乗った」とレースを振り返る鈴木さん。一年生からペアを組む中居さんとの息もぴったりで、六回戦は2位、七回戦はトップでゴールしソロ総合で3位。デュエットで宮古高校は五年ぶり二度目の栄冠を手に入れました。三年生から主将を務め、念願の全国制覇を果たした鈴木さんは「二年連続で準優勝だっただけにとてもうれしい。チーム全員で勝ち取った勝利です」と満面の笑みで語ってくれました。

インターハイ

ヨット・デュエット

鈴木萌さん(宮古高)が頂点に ソロでも3位入賞を果たす

全国高校総合体育大会(インターハイ)ヨット競技・女子FJ級ソロで宮古高校三年の鈴木萌さん(中央町・中居亜沙美さんペア)が3位に入賞。同校の別ペアも11位と健闘し、学校ごと

第26回県学童相撲大会

荒川君と米澤さんが優勝

第26回岩手県学童相撲大会の個人戦6年生の部で、荒川平君(船越小)と米澤歩さん(山田北小)が、ともに優勝に輝きました。大会は8月22日、浄法寺町宮相撲場で行われ、男子の部には県内の豆力士72人、女子の部には15人が出場。2人は初戦から順調に勝ち進み決勝へ進出しました。決勝で荒川君は相手を一気に押し出し、米澤さんは相手を押さえ付けて寄り切り、見事優勝を成し遂げました。荒川君は「あまりいい相撲がとれなかったけど優勝できて最高です」、米澤さんは「最後となる県大会で優勝できてとてもうれしいです」とそれぞれ喜びの声を寄せてくれました。



荒川 平君
 (船越小6年)



米澤 歩さん
 (山田北小6年)



の登録と予防注射

生後91日以上が対象です

秋季狂犬病予防注射が表の日程で行われます。生後九十一日以上

以上の犬は毎年一回、必ず予防注射を受けなければなりません。

飼い主の方は、忘れずに受けさせてください。

▽料金 登録済みの犬（平成七年四月一日以後に登録した犬）：三千百円（注射代）未

登録の犬：六千百円（注射代）三千百円、登録料三千円

▽問い合わせ 役場住民生活課

環境衛生担当（☎82-3111内線127）へどうぞ。

犬の登録は適切に

犬の登録は生涯一回です。なお、犬が死亡したり、犬の所在地や飼い主が変わったりした場合、三十日以内に役場への届け出が必要になります。登録・注射を受けないなどの場合には、二十万円以下の罰金が科せられますのでご注意ください。

日	時 間	場 所
10月19日（火）	午前 9 時～ 9 時10分	田名部林業担い手センター前
	◇ 9 時25分～ 9 時35分	上豊岡根青年会館前
	◇ 9 時45分～ 9 時55分	日当・佐々木榮さん宅付近
	◇ 10 時 5 分～10 時15分	山内橋付近
	◇ 10 時25分～10 時35分	船石橋付近
	◇ 10 時45分～10 時55分	馬鞍コミュニティセンター前
	◇ 11 時 5 分～11 時15分	荒川公民館前
	◇ 11 時25分～11 時35分	羽々の下コミュニティセンター前
	◇ 11 時45分～11 時55分	白山橋付近
	午後 1 時10分～ 1 時20分	桜野・健康増進センター前
	◇ 1 時半～ 1 時40分	繫集落センター前
	◇ 1 時50分～ 2 時	島田活動センター前
10月20日（水）	◇ 2 時10分～ 2 時20分	長内コミュニティセンター前
	◇ 2 時半～ 2 時40分	役場豊岡根支所前
	午前 9 時～ 9 時10分	山谷コミュニティセンター前
	◇ 9 時20分～ 9 時半	新開地・佐藤勝一さん宅付近
	◇ 9 時35分～ 9 時45分	鈴木商店付近
	◇ 9 時50分～10 時	大和水産倉庫付近
	◇ 10 時10分～10 時20分	浜川目バス停付近
	◇ 10 時半～10 時40分	勤労者体育センター前
	◇ 10 時50分～11 時	大網定置事務所付近
	◇ 11 時 5 分～11 時15分	柳沢第1団地B棟付近
	◇ 11 時25分～11 時35分	北浜防災センター前
	◇ 11 時45分～11 時55分	山田漁村センター前
10月21日（木）	午後 1 時10分～ 1 時20分	関口農業担い手センター前
	◇ 1 時25分～ 1 時35分	関口児童館前
	◇ 1 時40分～ 1 時50分	関谷林業担い手センター前
	◇ 2 時～ 2 時10分	飯岡商店付近
	◇ 2 時15分～ 2 時25分	かもめ公園付近
	◇ 2 時35分～ 2 時45分	みなとトイレ付近
	◇ 2 時55分～ 3 時 5 分	保健センター前
	午前 9 時40分～ 9 時50分	小谷鳥バス停付近
	◇ 9 時55分～10 時 5 分	大浦簡易郵便局付近
	◇ 10 時15分～10 時25分	浦の浜海水浴場駐車場
	◇ 10 時半～10 時40分	船越小学校下

日	時 間	場 所
10月21日（木）	午前10時50分～11時	船越漁村センター前
	◇ 11時10分～11時20分	山の内生活改善センター付近
	◇ 11時25分～11時35分	J R岩手船越駅前
	午後 1 時20分～ 1 時半	役場船越支所前
	◇ 1 時35分～ 1 時45分	長林・やまびこ公園付近
	◇ 1 時55分～ 2 時 5 分	農協旧織笠支店前
10月22日（金）	◇ 2 時15分～ 2 時25分	織笠漁協前
	◇ 2 時35分～ 2 時45分	細浦ブロックセンター前
	午前 9 時10分～ 9 時半	外山ブロックセンター前
	◇ 9 時40分～ 9 時50分	落合橋付近
	◇ 10 時～10 時15分	田子の木生活改善センター前
	◇ 10 時25分～10 時45分	馬指野集落センター前
10月23日（土）	◇ 10 時55分～11 時10分	猿神農業担い手センター前
	◇ 11 時20分～11 時半	織笠・新田集落センター前

町長室から

古くから「山田祭りに雨は付きもの」といわれてきました。昨年から敬老の日が変更になり、それに合わせて祭りの日程が変わりましたが、シンクスは生きていました。ただ、本降りにはならずわずかな時間で上がったので大きな支障にもならず、今年も多くのお客さまに祭りを楽しんでいただくことができました。町のホームページに「お祭り広場を楽しみにしているが、車いすなので不安がある。専用の席を用意していただけないか」との要望が掲載されましたが、実行委員会では早速この願いを聞き入れて、多くの車いすの人が最前列で祭りを楽しんでいただけたこともうれしいことでした。町外からのお客さまが増えているのではないかと関係者の皆さんが見ています。これからも「鮭まつり」「カキまつり」と山田の魅力をさらに発信し続けます。実行委員会の皆さま本当にご苦労さまでした。

山田町長 沼崎喜一

おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔

各種相談を開催 ご利用ください

特設人権相談所

特設人権相談が行われます。相談は無料で、秘密は固く守られます。どうぞご利用ください。

▷日時 10月13日(水)
午前10時～午後3時
▷場所 町中央コミュニティセンター

▷相談員 人権擁護委員
▷問い合わせ 役場住民生活課 住民相談担当(内線128)へ。

母子家庭等特別法律相談

母子家庭などの方々が日ごろ抱えている法律上の問題について、無料法律相談を行います。

▷日時 10月22日(金)
午前10時～午後3時
▷場所 宮古地方振興局
▷対象 母子家庭の母子、寡婦または父子家庭の父子
▷相談員 横道二三男弁護士(はまなす法律事務所)
▷申込期限 10月15日
▷申込先・問い合わせ 社団法人岩手県母子寡婦福祉協会山田支部(役場保健福祉課内・内線132)へどうぞ。

11月15日まで

秋の農作業 安全月間

農作業時の安全確保を心掛け、地域ぐるみで農作業事故を防止しましょう。

INFORMATION

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス <http://www.town.yamada.iwate.jp/>

各種講座を開講 お気軽に参加を

初心者向けパソコン講座

▷期日 10月18日～22日(全5回)
▷時間 午後6時半～9時
▷場所 町中央公民館
▷内容 ウィンドウズ98、ワープロソフト「ワード2000」、表計算ソフト「エクセル2000」の基本操作
▷受講料 1,000円
▷対象 一般町民20人(定員になり次第締め切ります)
▷受付期間 10月5日～8日
▷申込先・問い合わせ 町中央公民館(☎82-3212)へどうぞ。
ウオーキング講習会

▷日時 10月19日(火)
午後1時半～4時
▷集合場所 B & G 海洋センター体育館
▷持参する物 タオル、飲み物
※運動しやすい服装でお越しください。

▷参加料 200円(保険料)
▷申込先・問い合わせ 10月13日までに役場保健福祉課保健指導担当(内線166)へ。
赤十字家庭看護法介助員養成講習

▷期間 11月19日～21日
▷時間 午前9時～午後5時
▷場所 町保健センター
▷内容 家庭で病人が出たときの対応の仕方や病気の予防方法など
▷定員 20人
▷参加費 500円(教本代)
▷申込期間 10月4日～29日
▷申込先・問い合わせ 山田町社会福祉協議会基幹型在宅介護支援センター(☎82-5670)へどうぞ。

行政相談あります

▷日時 10月14日(木)
午前10時～正午
▷場所 町中央コミセン
※行政について納得できないことなどご相談ください。

土地取り引きには 届け出が必要です

10月は「土地月間」、1日は「土地の日」です。土地はゆとりのある住宅・社会資本の整備や地域づくりを進めるためにも有効に使われなければなりません。土地の投機的な取引や地価の高騰を防ぐため、「国土利用計画法」で一定面積以上の土地を取得する場合は、県知事への届け出が義務付けられています。届け出をしなかったり、偽りの届け出をしたりすると法律で罰せられることがあります。土地を取得した場合は、契約日以後2週間以内に届け出を済ませるようにしてください。
▷届出先・問い合わせ 役場企画財政課企画担当(内線438)へどうぞ。

後期のジュニア 陸上教室を開講

平成16年度後期の山田ジュニア陸上教室が開講されます。参加希望の方は、直接会場へお越しください。
▷日程 10月9日、16日、23日
※11月以降の日程はお便りなどでお知らせします。
▷時間 午前9時半～11時
▷場所 町民グラウンド陸上競技場(雨天時は山田南小学校体育館)
▷持参する物 タオル、飲み物(雨天時は室内用シューズ)
※今年度初めて参加する人は、保険料500円が必要です。
▷問い合わせ 山田ジュニア陸上教室事務局(山田町社会福祉協議会内・瀬戸浩 ☎82-3841)へどうぞ。

10月の町長面談日

▷日時 10月22日(金)
午前10時～正午
▷場所 役場4階特別応接室
※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

芸術祭の舞台部門 31日に行われます

町民芸術祭の舞台部門「民謡と踊りの集い」が開催されます。皆さんでお誘い合わせの上、ご来場ください。
▷日時 10月31日(日)
午後1時～
▷場所 町中央公民館
▷入場料 500円
▷入場券販売開始日 10月7日
▷入場券取扱所 町中央公民館、役場各支所、マツモト、山田ハットリ、菊屋薬局(中央町)
▷問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当(内線624)へ。

「介護」をテーマに 女性セミナー開催

やまだまち女性セミナーの全体学習会が「介護サービスを考える」をテーマに開催されます。どなたでも参加できますので、どうぞご来場ください。
▷日時 10月18日(月)
午後1時半～3時半
▷場所 町中央公民館
▷問い合わせ 町教育委員会事務局社会教育担当(内線623)へどうぞ。

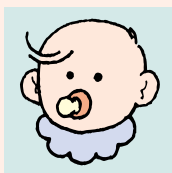
12日から違反建築 防止週間が実施に

10月12日から18日まで、「違反建築防止週間」が実施されます。これは、建築基準法の制度を理解していただき、違反建築を無くすことを目的として行われるものです。県では、週間行事の一つとして10月13日に県下全域で一斉公開建築パトロールを実施します。また、この期間中には建築相談所を開設し、建築に関する各種相談に応じます。お気軽にご利用ください。
▷相談所の開設場所 宮古地方振興局土木部内(☎64-2221内線267)
▷問い合わせ 役場地域整備課建築担当(内線252)へどうぞ。

1歳にないました

10月生まれの赤ちゃん紹介

※敬称略・（ ）内は地区名、保護者、性別です。



稲川ひより
(織笠・大樹・女)



加藤未沙希
(大浦・正広・女)



山崎美咲
(田の浜・友彦・女)

おめでとう・おくやみ

8月届け出分(敬称略)

〔出生〕()は保護者名と性別

▷山田 駒場釈奈(利行・女)、下村知太郎(知信・男)、阿部滉士(寛之・男)、中村千咲(徹・女)、芳賀那智(孝貴・男)、齋藤莉玖(孝博・男)、菊地琉雅(秀幸・男)

▷田の浜 田畑真(作典・男)

▷豊間根 山内美咲翔(美文・女)、芳賀悠叶(純一・男)

〔死亡〕()は年齢

▷山田 佐藤ツネ(83)、大橋コト(70)、内館ヨシノ(88)、織笠清禧(82)、佐々木正一(56)、今野イチ(94)

▷船越 大砂賀安雄(76)

▷豊間根 勝山勝雄(83)、外館ウメ(82)

▷荒川 齋藤サノエ(95)

町民のうごき

(8月1日~31日)

▷出生……11人 ▷転入……35人
▷死亡……11人 ▷転出……35人

▷人口…21,129人(今月増減なし)
男…10,156人 女…10,973人
▷世帯数………7,293世帯

4日から10日まで オランダ週間を開催



オランダの障害者が作ったADO玩具の一部(丸写真)

町と山田町日蘭交流友の会では、10月4日から10日まで、オランダ週間を開催します。期間中にはさまざまなイベントが行われます。この機会にオランダの文化に触れてみませんか。

●オランダ・ザイスト展

▷日時 10月4日~10日 午前8時半~午後5時

▷場所 町中央公民館ロビー

▷内容 ザイスト市の概要や海外派遣事業の活動の紹介、ADO玩具(オランダの障害者が作った玩具)などの展示

●オランダ・ザイスト講座

▷日時 10月6日(水) 午後7時~

▷場所 町中央公民館小ホール

▷内容 ザイスト市に関する講座、出席者との意見交換会など

▷講師 フレッド・スティンスマさん

●オランダ料理講座

▷日時 10月7日(木) 午後1時~

▷場所 町中央コミュニティセンター

▷内容 オランダの家庭料理「Pannenkoek&Poffertjes(オランダ風パンケーキ)」の作り方紹介

▷講師 コニー・ヨングブルドゥさん

▷定員 30人

※参加希望の方は、10月5日までに申し込みください。

▷申込先・問い合わせ 町教育委員会事務局国際交流担当(☎82-3111内線332) へどうぞ。

◆今号の表紙のタイトルは担当者二人でずいぶん悩みました。限られた字数で写真撮影した時の雰囲気や伝えているのは難しいものですね。最終的にあのタイトルに決定しましたが、「お祭り」の雰囲気や伝わるようなタイトルになっているでしょうか。さて、広報を担当して一年が経ち、今月から広報二年生に進級です。皆さんに愛される広報目指して頑張りますので、よろしくお願いします。◆(和)◆広報担当になって山田の秋祭りを取材した時から、お祭りファンになりました。海側からカメラのレンズ越しに見える大杉神社の海上渡御、担ぎ手が力を振り絞り境内の石段を上る八幡宮のみこしは、まさに圧巻。カメラのシャッターを切るのも忘れ、つい見入ってしまいます。◆そんなこんなで広報編集のたびに、写真をもっとたくさん撮っておけばよかったと後悔するばかり…。後の祭りです。◆(幸)

